



しらびそ小屋では、寝具持参が難しい人のために有料のレンタルシュラフを用意した

## 北ハケ岳 しらびそ小屋



今井孝明さん

6月19日より営業再開予定です。感染リスクを抑えるため完全予約制とし、宿泊人数を制限します。そのほか、消毒や換気の徹底、部屋に仕切りを設ける、食堂の配置変更、軽食はテイクアウトにするなどの対策を行ないます。お客様には、館内でのマスク着用と基本的には寝具持参をお願いします。人員やスペースの問題があるので入館時のスクリーニングはできる範囲で行ないます。お客様自ら事前の検温や体調管理をしていただき、異変があれば登らないようご協力ください。万が一予約を忘れた場合、できるかぎり下山していただく、時間が遅く下山不可の場合も食事提供はしないという対応にならざるを得ません。冬季はさらに感染対策が難しくなるため、休業すべきか頭を悩ませています。どうか感染症に対する知識を身に付け、山小屋での対策にご理解とご協力をいただきたいです。「山小屋エイド基金」では、みなさまからたくさん温かいご支援をいただき、感謝しています。一日も早く事態が収まり、安心して山を楽しめる日が来るよう願っています。ともにがんばりましょう。

## 奥秩父 金峰山小屋



吉木真一さん

5月中は営業を自粛、6月から営業（政府や県からの要請があれば変更あり）の予定です。営業再開にあたり、完全予約制とし定員の半分ほどに人数を制限します。換気や消毒、消毒液の設置、部屋をカーテンで仕切るなどの対策も行ないます。消毒用品や防護服など入手が難しいものもあり、下界と同じような対策はできない部分もありますので、利用される方は、マスクや手の消毒液、シーツまたはシュラフの持参にご協力ください。山小屋は3密を避けるのが難しい場所です。万が一山で体調を崩された方は、母屋とは別棟で対応しますので自己申告してください。経営も厳しいので融資を受けつつ、できるかぎりの感染予防策を行ない営業しようと思っておりますので、ケガや遭難のないよう念入りに計画を立て、感染対策を行なったうえで、お越しいただけたらうれいします。

## 北アルプス 劔澤小屋



佐伯新平さん

営業開始は7月中旬の予定（残雪とコロナの状況次第）です。以前から予約制なので、これを利用し宿泊者数を制限します。定員の半分で営業するのは経営的には厳しいですが、独自のクラウドファンディングやグッズの通販などで少しでも資金を集め、感染対策を徹底したいです。そのほか、非接触体温計での検温や、食堂のレイアウト変更、トイレ浄化槽の塩素消毒などの対策を予定しています。寝具はシーツをリースして都度交換するほか、ビニールで覆う案も検討中です。登山者のみなさまには、5日前からの検温と、マスクや消毒液、シュラフ（できれば）の持参をお願いします。課題は山積みですが、安全のために最大限努力するのは、いつもの登山と同じです。登山にノーリスクはありませんが、少しでもリスクを減らせるよう、ご協力ください。

## 御嶽山 二の池ヒュッテ



高岡ゆりさん

例年どおり営業前の修繕作業を行ない、今年の営業開始は7月11日として準備を進めています。新型コロナウイルス対策として宿泊は定員の半数（完全予約制）に。寝具は消毒したものを毎日交換しながら使用し、枕カバーは使い捨て利用を考えています。また、お客様には

到着時の体調チェック、館内でのマスク着用、インナーシーツや就寝時に寝具の首元を覆うタオルなどの持参にご協力いただけたらと思います。到着時に体調を崩された方がいる場合は、隔離用にテントを用意していますが、山小屋でできる対策は限られてしまいます。登山者のみなさまにも意識を高めていただき、体調に不安があれば登らない、引き返す、の実践をお願いいたします。

## 北アルプス 蝶ヶ岳ヒュッテ・ 大滝山荘



中村 梢さん

蝶ヶ岳ヒュッテは7月15日から、大滝山荘は7月20日から営業予定です。営業再開の際は完全予約制とし、マスクや寝具、アルコール消

毒グッズなどの持参をお願いするつもりです。水を天水に頼っているので手洗い場の設置は断念しました。予算にも限りがあるため、スタッフの手作業で相部屋に仕切りを追加するなどの対策を進めています。公式ホームページではグッズの通販を通じてコロナ対策資金も募っております。登山者のみ

なさまも、混雑期を避ける、登山の1週間前から体温測定し不要な外出を避けるなど、感染対策にご協力ください。コロナという一つの時代が訪れ、山小屋も登山者も変化を求められていると感じます。ご自身でも予防対策を行なった上で、ぜひお越しく下さい。



蝶ヶ岳ヒュッテでは、相部屋に仕切りを取り付ける工事を進めている